

株主・投資家の皆様へ (第83期報告書)

2021年4月1日～2022年3月31日



株式会社 **エスライン**

証券コード:9078

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当社は2022年3月31日をもって、第83期事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに報告書をお届けし、事業の概況等につきまして、次のとおりご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、いまだ終息の目処がたっていない状況にあり、また、物流関連業界におきましては、燃料価格の高騰や、労働時間の規制対応といった課題も多く、大変厳しい状況が続いておりますが、さらなる企業価値向上に向け専心努力をいたす所存でございますので、株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長
山口嘉彦



決算ハイライト

営業収益

482億54百万円

前期比1.0%

(単位：百万円)



経常利益

14億31百万円

前期比△12.1%

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

9億66百万円

前期比△0.5%

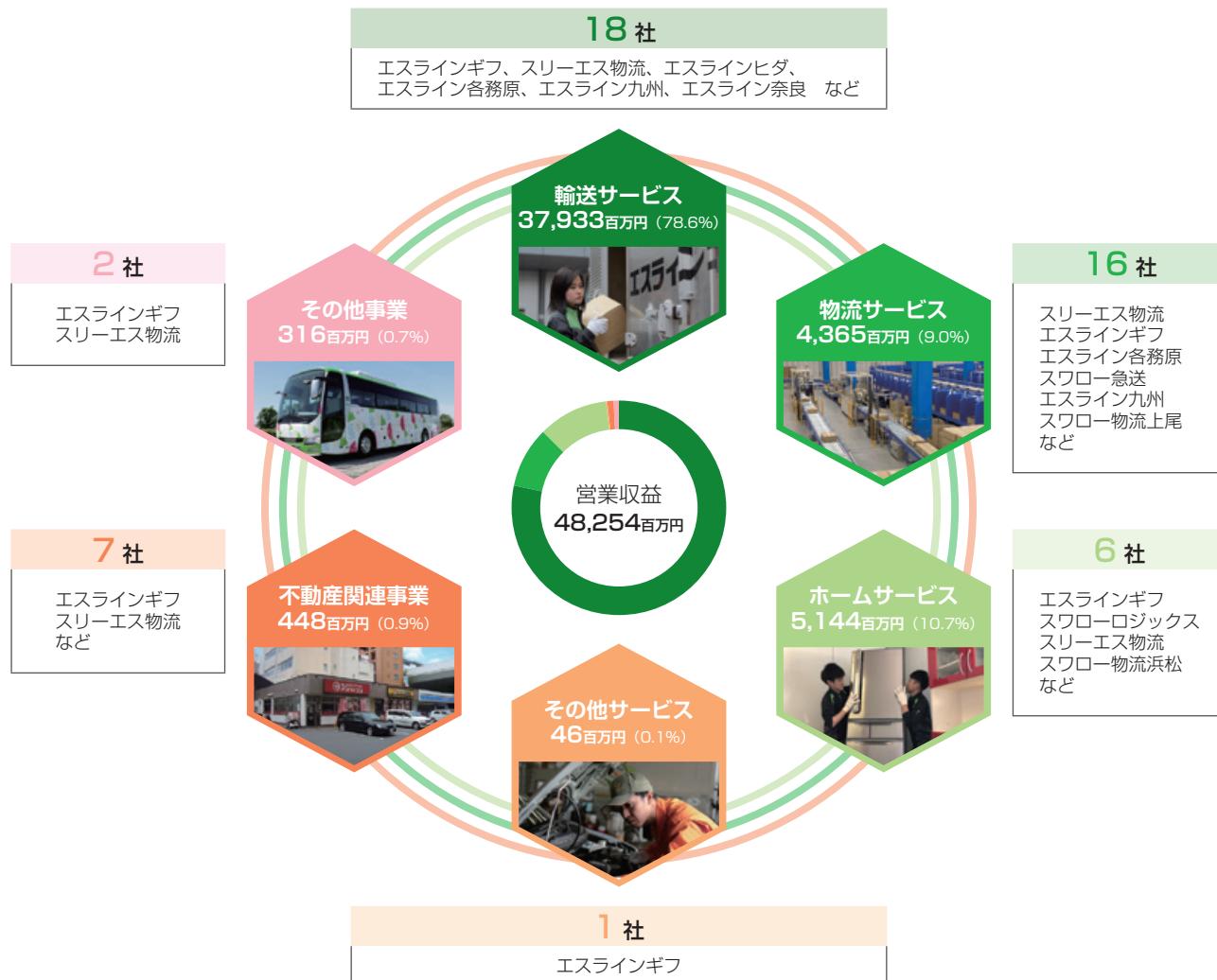
(単位：百万円)



- ✔ 新型コロナウイルス感染に関する緊急事態宣言の再発出や、まん延防止等重点措置の期間延長等の影響により、経済活動は不安定
- ✔ 世界的な原材料等の価格高騰や半導体不足による生産活動の停滞の影響があったものの、営業収益は増収
- ✔ 燃料価格の高騰や、慢性的なドライバー不足による外注費用が大きく増加し、利益面では減益

エスライングループ事業紹介

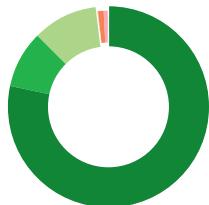
純粋持株会社である株式会社エスラインは、特色ある19のグループ会社を傘下に有し、物流関連事業（輸送サービス・物流サービス・ホームサービス・その他サービス）、不動産関連事業、その他事業を展開しており、グループ各社がそれぞれの得意分野を活かしながら有機的に結合し、企業価値の向上に向けて、グループ一丸となって取り組んでおります。



物流関連事業

474億89百万円 前期比1.0%

輸送サービス、物流サービス、ホームサービスなど



- ✓ 「輸送サービス部門」では、特別積合せ貨物の輸送量は低調であったものの、貸切貨物の輸送量が大幅に増加したこと、また、適正運賃の收受や燃料サーチャージの收受に努めたことによって、増収
- ✓ 「物流サービス部門」では、複数のセンターが稼働し、庫腹量の増加により、コロナ禍での巣籠もり関連商品である菓子類等の保管や加工業務が順調に伸びたことによって、増収
- ✓ 「ホームサービス部門」では、前期の特別給付金支給による白物家電を中心とした買い替え特需の反動によって、減収



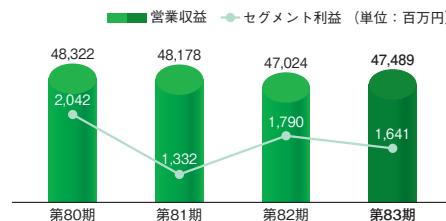
以上の結果、物流関連事業全体では、増収



菓子類の保管・加工を行う
「スリーエス物流本社第1センター」



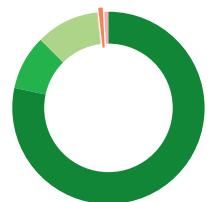
輸入貨物の貸切輸送を専門に行う
「阪神港湾センター」イメージ



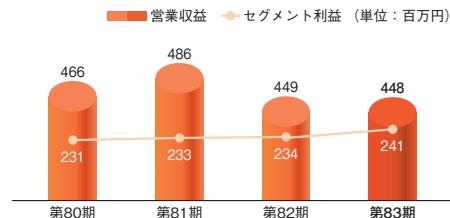
不動産関連事業

4億48百万円 前期比△0.2%

不動産賃貸業



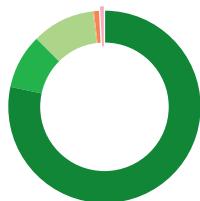
- ✓ 当社グループ各社にて保有している不動産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでいるものの、前期にあった短期賃貸物件の終了によって、減収



その他事業

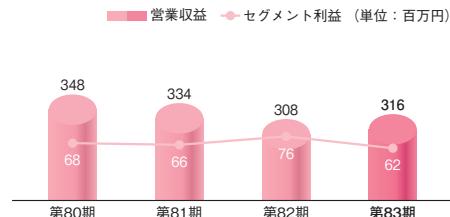
3億16百万円 前期比2.6%

旅客自動車運送事業、売電事業



- ☑ 「旅客自動車運送事業」では、緊急事態宣言の解除に伴い、クラブ・サークル活動等の遠征や冠婚葬祭時の送迎業務が一部回復したことによって、増収
- ☑ 「売電事業」では、前期に比べ発電量が減少したことによって、減収

以上の結果、その他事業全体では、増収



グループ会社一覧





この一年の主な出来事

福利厚生

2021.05

「働きやすい職場認証制度」を取得しました。

エスライングループの事業会社14社の各事業所では、「働きやすい職場認証制度」(運転者職場環境良好度認証制度)の認証を取得しました。この認証審査では、①法令順守等 ②労働時間・休日 ③心身の健康 ④安心・安定 ⑤多様な人材の確保・育成 の5分野について国土交通省が定める取組要件を満たし、また自主的・先進的な取組みを行っていることについて審査が行われますが、各事業所とも、「1つ星」認証を取得することができました。今後も、より働きやすい労働環境の実現を目指していきます。



認証を取得した事業会社とその事業所数

事業会社名	事業所数
エスラインギフ	44
エスライン九州	11
エスラインヒダ	3
エスライン羽島	1
エスライン郡上	1
エスライン各務原	2
エスラインミノ	1
スリーエス物流	4
スワローロジックス	1
スワロー急送	1
スワロー物流岐阜	1
スワローセキュリティサービス	1
スワロー物流大阪	1
スワロー物流福岡	1

エスライングループ

施設の新設

2021.08

新倉庫がオープンしました。

エスラインミノは、エスラインギフが外壁材・屋根材メーカーの保管・加工・配送業務を行うための倉庫2棟を新築し、賃貸を開始しました。この施設のオープンにより、保管・加工スペースが従来に比べ倍になったことに加え、2つの倉庫間の商品の保管や移動等を機能的かつ効率的に行うことが可能となりました。

また、立地面でも、東海北陸道のインターチェンジに近く、道路アクセスも良いことから、各方向向けの配送に最適な立地にあり、お客様のご要望に十分お応えできる施設となりました。

(平屋建、A棟:西側1,578.72㎡ B棟:東側1,294.80㎡)



機エスラインミノ・機エスラインギフ

施設のリニューアル

2021.08

川口支店がリニューアルオープンしました。

エスラインギフ川口支店は、施設の老朽化に伴い、2020年2月から3期に分けた建物の建替を行いました。2021年8月に完成いたしました。新施設は、取り扱い貨物量の一層の増加を見込み、荷捌場(プラットホーム)の面積を約1.5倍、市内集配車両の操車場所の拡張、また、防音壁による騒音対策も行いました。さらに、事務所にはAIによる市内集配車両の配車を行うために大型モニターも設置しました。

また、併設の家電配送を行う南埼玉センターの事務所・倉庫も新たになり、作業性が一段と向上しました。

(事務所棟2階建、プラットホーム・倉庫平屋建、プラットホーム面積:1,999.28㎡ 倉庫面積:267.20㎡)



機エスラインギフ

福利厚生

2021.09

職域接種を実施しました。

岐阜県・愛知県・三重県内のエスライングループの事業会社9社の社員およびその家族約470人が、近隣企業と合同で、新型コロナウイルス対策ワクチンの職域接種を実施しました。またその際、接種枠の一部を岐阜県各務原市民の皆様にも開放しました。また、エスライングループでは、体調不良が発生した場合、就業免除や特別休暇を取得できる制度も設け、ワクチン接種を希望した社員の副反応等への不安を払拭する取り組みも実施しております。



エスライングループ

2021

4

5

5/7
決算発表

6

6/29
定時株主総会

7

8

8/6
第1四半期決算発表

9

社会貢献・SDGs

2021.09

東京オリンピックで使用されたマットレスの配送を行いました。

エスラインギフは、大手取引先である寝具メーカー様が、2020東京オリンピック・パラリンピックの選手村にて使用されたベッドのマットレスを次の2施設に寄贈されるにあたり、保管・配送業務を行いました。

【大阪コロナ大規模医療・療養センター】

病室や医療従事者・職員の皆様が休憩用に使用される、マットレス816個・枕106個・段ボールベッド16個を保管場所まで配送しました。

【独立行政法人国立青少年教育振興機構】

マットレス約10,000個、枕約10,000個をエスラインギフ東京支店にて一時保管し、配送しました。



㈱エスラインギフ

施設のリニューアル

2022.03

戸田センターがリニューアルオープンしました。

エスラインギフは、埼玉県戸田市に新たな家電・家具配送センター(戸田センター)を2022年3月にオープンしました。この施設は、特別積合せを行っていた戸田支店を、家電・家具配送業務を行う施設へと全面リニューアルしたものです。当センターは、埼玉県南部と東京都23区内北部エリアを担当し、関東エリアの家電・家具配送ネットワークのさらなる充実を目指していきます。

(1階:戸田センター 2階:家電物流事業部)



㈱エスラインギフ

環境対策・SDGs

2022.01

関東地区にEVトラックを導入しました。

エスラインギフは、中部地区で4台導入しているEVトラック「e Canter」を関東地区(京浜支店)でも3台導入しました。今回の導入でエスライングループでは合計9台となりました。

このEVトラックの導入は、長年お取引をいただいております衣料品量販店様が、同社の都内店舗配送にはSDGsへの対応として、環境にやさしいEVトラックにて行ってもらいたいという強い要望により実現したものであります。

EVトラックは、排気ガスが発生しないため空気を汚染しないことだけでなく、運転中の振動が少なく、ドライバーへの身体的負担も少ないため、労働環境の改善に貢献しています。



㈱エスラインギフ

施設の新設

2022.03

厚木支店が移転します。

エスラインギフの厚木支店は、1975年に開設して以来50年余り経過し、施設の老朽化・狭隘化が進んだことにより、新たに神奈川県海老名市に倉庫を併設した新物流センター(仮称 海老名支店)を新築し、移転することとし、工事を開始しました。

この施設が完成しますと、2階建倉庫(2,669.48㎡)が併設となり、お客様の流通・物流システムの最適化にお応えできるセンターとして、保管・加工業務のさらなる拡大を目指していきます。また、東名・新東名高速道路・圏央道の3つの高速道路のインターチェンジへのアクセスがよく、中部・関西からの玄関口でもある好立地を生かして、運営していく計画です。この新施設の新築工事開始にあたり、2022年3月30日に地鎮祭を行いました。



㈱エスラインギフ

10

11

11/5
第2四半期決算発表

12

2022

1

2

2/10
第3四半期決算発表

3

◆ 新中期経営計画 ◆

『ありがとう創造計画』

2023年3月期～2025年3月期(3か年)



長期ビジョンで目指す事業像

商品を送る安心と、受け取る嬉しさをつなぐ、ありがとう創造企業

荷物を運ぶ、保管するなど、最適な物流を提供する事で、
お客様に「ありがとう」と思われる会社になる

働き方改革を通じ、
社員からも「ありがとう」と思われる会社になる

◆ 中期経営計画の方針 ◆

規模の拡大

- ① 確固たる収益基盤の構築
→ コロナ禍からの輸送需要回復を着実に取り込む
→ 新たな荷主開拓・荷主層の再編
- ② 特定の輸送・物流サービス(取扱商品、荷主層、地域、運送形態)を対象に、推進体制を重点的に強化

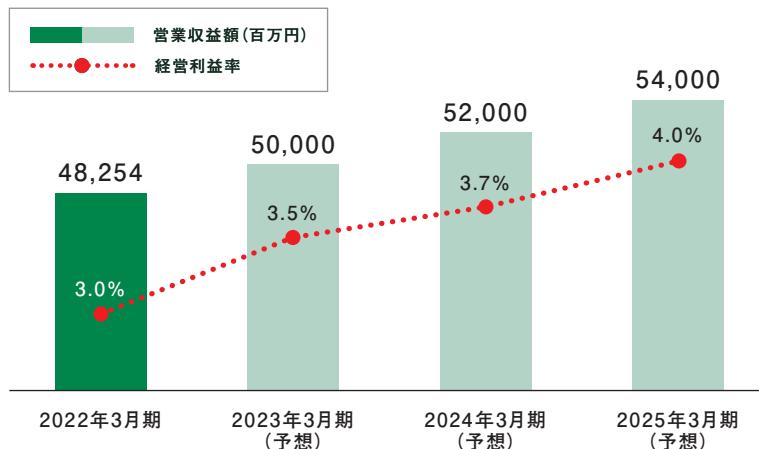
質の向上

- ③ 次世代を見据えた最新技術の導入とオペレーションの洗練化
→ 基幹システムリニューアルと併せた、輸送サービスにおけるDX推進
→ 倉庫の省人化・効率化への積極投資
- ④ 人材の質の更なるレベルアップのためのインフラ整備
→ グループとしての研修・人材育成強化
→ 採用・人材育成に資する新規事業の立ち上げ
(例: 研修会社、保育所等)

推進体制・基盤強化

- ⑤ グループとしての推進体制の再構築
→ 当社が中心となってグループ各社を統括・牽引するために、持株会社機能を見直す
- ⑥ 業績管理の中核である事業セグメント別業績管理のテコ入れ
→ 基準、システム、運用ルールの面から再構築を図り、正確な情報を提供できる姿の実現化

◆ 経営目標 ◆



項目	2025年3月期 (最終年度)
営業収益	540億円
経常利益	21億6千万円
経常利益率	4.0%
ROE	5.0%

◆ 各サービス分野の基本方針 ◆

輸送サービス

- ・当社グループの中核事業である特積事業は、コロナ禍からの物量回復を確実に取り込むとともに、採算性への意識改革やDX取組を通じた収益性改善を実現する
- ・貸切事業、輸出入貨物の取引等、更なる需要掘り起しを企図し、推進体制を強化する

物流サービス

- ・関東エリアにおける倉庫拠点網拡大、営業体制強化による収益力拡大を図るとともに、近年中部エリアに新設・大幅改修した倉庫拠点の稼働率を向上させ、収益の柱として確立する
- ・倉庫の省人化・効率化を積極的に推進し、倉庫オペレーションの更なる高度化・専門化を追求する

ホームサービス

- ・当社toC物流として位置付けられる大型商品(家電)配送事業と引越事業は、推進体制を拡大・強化し、配送品質を向上させる事で、更なる収益拡大を図る

流通分野・新規事業

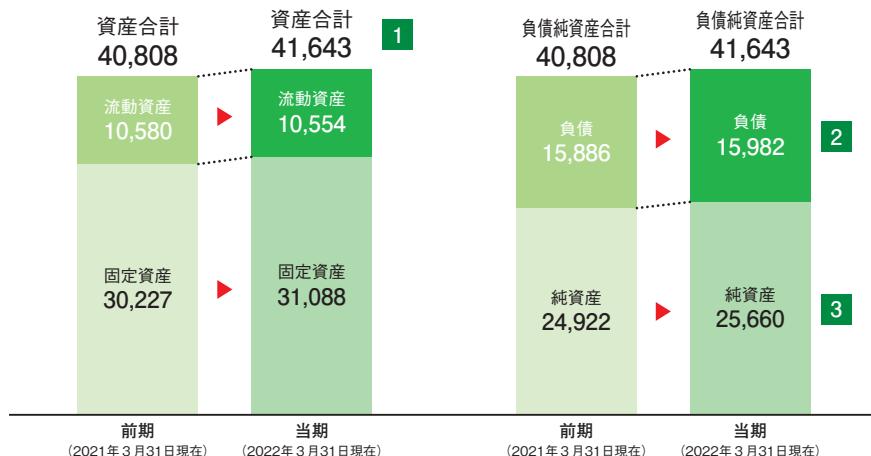
- ・流通機能(受発注、代金決済機能、需要予測)を拡充し、システム提供、運用支援、輸送・保管と組み合わせた流通機能の一貫提供により、流通ソリューション企業としての足掛かりを作る
- ・本業の人材育成・採用強化に貢献し、過度な投資を必要としない事業を新規事業の有力候補と位置づけ、事業化検討を推進する
- ・長期ビジョン実現に向けた課題であるEC物流への取り組みを図るために、ECサイト構築への試行や、ESG取組(社会貢献)の一環として、地域配送サービスの展開に向けた商品配送についての研究も推進する

ESGへの取り組み

- ・持続可能な社会の実現、中長期的な企業価値の向上を目指して、環境・社会に配慮した事業運営に取り組む。また、グループ経営力を高めるためのガバナンス強化を推進する
- ・企業市民として、地域清掃や安全指導等の地域貢献活動に取り組む

連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



ポイント

1 資産

連結資産合計は416億43百万円（前連結会計年度末408億8百万円）となり、前連結会計年度末比8億35百万円増加しております。この主な要因は、有形固定資産の取得による増加であります。

2 負債

連結負債合計は159億82百万円（前連結会計年度末158億86百万円）となり、前連結会計年度末比96百万円増加しております。この主な要因は、借入の実行による増加と流動負債のその他の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

3 純資産

連結純資産合計は256億60百万円（前連結会計年度末249億22百万円）となり、前連結会計年度末比7億38百万円増加しております。この主な要因は、利益剰余金の増加と退職給付に係る調整累計額の増加によるものであります。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

27億29百万円の収入（前期は27億22百万円の収入）となりました。この主な要因は、税金等調整前当期純利益と減価償却費の計上による収入であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

36億28百万円の支出（前期は41億61百万円の支出）となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

7億88百万円の収入（前期は15億90百万円の支出）となりました。この主な要因は、借入の実行による収入と借入金の返済、配当金の支払による支出であります。

連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



会社情報・株式の状況

会社概要

社名	株式会社エスライン
英文社名	S LINE CO.,LTD.
設立	1947年3月10日
資本金	22億3,773万1,515円
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 プレミア市場
本社所在地	岐阜県羽島郡岐南町平成四丁目68番地 電話 (058) 245-3131 (代表)
従業員数	2,117名 (連結)

株式の状況

発行可能株式総数	40,847,000株
発行済株式の総数	11,095,203株
株主数	9,601名

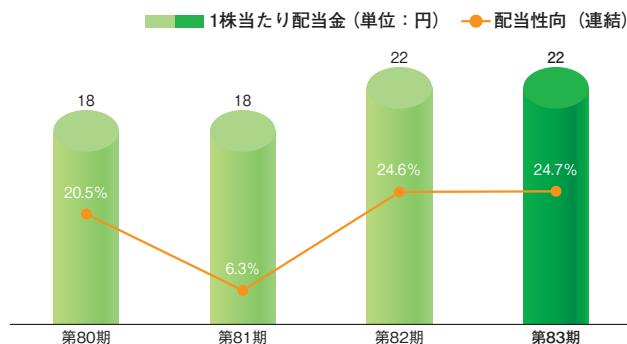
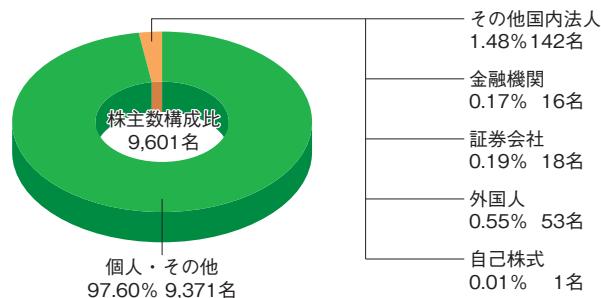
大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 千株	持株比率 %
株式会社大垣共立銀行	500	4.56
みずほ信託銀行株式会社	500	4.55
株式会社十六銀行	493	4.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	429	3.91
株式会社三菱UFJ銀行	385	3.50
明治安田生命保険相互会社	363	3.31
王子運送株式会社	361	3.29
エスライン従業員持株会	348	3.17
株式会社市川工務店	320	2.91

役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長	山口 嘉彦
取締役	堀江 繁幸
取締役	白木 武
取締役	青木 浩一
取締役	加藤 孝一
取締役	笠井 大介
取締役	村瀬 光明
取締役 (常勤監査等委員)	村瀬 明治
社外取締役 (監査等委員)	中村 源次郎
社外取締役 (監査等委員)	岡本 実

株式分布状況



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日 期末配当 毎年3月31日、中間配当 毎年9月30日
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社

公告方法 電子公告
 公告掲載URL <http://sline.co.jp/>
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル：0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取り以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。

株主優待制度について

- 対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上を保有する株主様を対象といたします。
- 贈呈品
①当社株式保有年数が3年未満の場合 クオカード(1,000円分)1枚
②当社株式保有年数が3年以上の場合 クオカード(2,000円分)1枚
※「当社株式保有年数が3年以上の場合」とは、株主様が同一の株主番号で2019年3月31日の株主名簿から2022年3月31日までの中間期・期末株主名簿に記載または記録されていることをいいます。
- 贈呈時期
毎年、定時株主総会終了後の6月下旬に、「定時株主総会決議ご通知」とともにお送りいたします。



クオカードデザイン

東京オリンピックにバスを派遣しました

東京オリンピック期間中、エスラインギフのバス事業部から2台のバスを派遣し、マスコミ関係者の送迎を行いました。東京オリンピック開催にあたっては、IOC(国際オリンピック委員会)より47都道府県のバス会社に要請があり、約2,000台のバスが東京に集結しました。また大会終了後には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から感謝状が贈呈されました。今後もこうしたビッグイベントには、積極的に参加していきます。



株式会社 エスライン

〒501-6013 岐阜県羽島郡岐南町平成四丁目68番地
 TEL：058-245-3131 FAX：058-240-4850
<http://sline.co.jp/>
 当社ウェブサイトも、ぜひご覧ください。

エスライン

検索

